

# セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン  
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2022.2 No.214

今月のトピック

特集●

自然の恵みで全国をつなぐ  
～福岡県黒木町からのたより～

まちの市民力！ ●かみきた子育て集会所

キラリ世田谷人 ●森本 <sup>やつき</sup> 八月喜さん



イラストレーション ●わたなべようこ  
武蔵野美術大学油絵学科卒。図工教室の講師、児童館勤務などを経て、現在はプレーパークで子育てをしながら、ワークショップ、似顔絵・イラスト制作をしています。

●わたしの世田谷  
『こんな事がやりたい』が実現できるコミュニティが充実しており、人と人が繋がり、人が生き生きしている街だと思っています。それは子育てをしていてもとても感じます。世田谷は素敵です！

## ●特集

# 自然の恵みで全国をつなぐ ～福岡県黒木町からのたより～

八女茶で有名な福岡県八女市にある黒木町。できるだけ農業を使わない、自然のままのおいしい黒木の農産物は、区内の年中行事であるボロ市、梅まつり、楽市楽座などでおなじみですが、ここ2年間はコロナ禍により、こうしたお祭りも中止になり、対面で購入する機会がなくなってしまうています。しかし、自然の恵みは待ったなし。梅、タケノコ、すもも、ミカン、栗、柿、椎茸・・・。コロナに関係なく、四季折々に豊かに実をつけ、黒木の人たちは大忙しです。



豊かな農産物で「ふるさと興し」

世田谷ボランティア協会で、かつて評議員を務められたことのある小川栄子さんは、夫の光吉さんが2004年に故郷黒木町の町長になり、世田谷から黒木町に軸足を移しました。黒木には昔のままの自然の恵みがあふれていました。ならば安全な自然の農産物で「ふるさと興し」をしようと、農家のかあちゃんたちが丹精込めて作った「本物の味」を求めている都会の人たちに届けようと考えました。東京の友人知人にサンプルを送って感想を聞き、「感動を届けられた」という確信が「黒木ふるさと便」というシステムの誕生につながりました。

20種類もの季節ごとの野菜や果物を詰め込んだクロネコ便の「ビックリ箱」を月に2回発送。「かあちゃんたち」や『ばあちゃんたち』は、「食べてもらえるな」と張り切って農作業に精を出す

し、受け取る都会の人たちは、旬の自然の味を心待ちにします。どちらの側も幸せになれる「ウインウインの関係」が作り上げられます。栄子さんはこのように女性が収入を得ることで、「農村女性の経済的自立につながる」ことを期待しています。そして、都会の人たちにとっては思いもかけぬ生産現場を学ぶ「社会勉強」の場となっているのです。

## 生産者と消費者をつなぐ

例えばこんなことがありました。小川さんのイチオシの一つが「原木シイタケ」。原木シイタケは東日本では群馬、栃木、福島で生産されていましたが、原発事故以降、東では工場での菌床栽培が多くなり、東京のスーパーでは原木シイタケを目にすることがなくなりました。一パック250円の立派なシイタケを送った時、「正真正銘の黒木産なのに、こんなに安



原木シイタケは、風味や香りもよく、肉厚です。

い椎茸は中国産に違いない。あるスーパーでは5倍しているのだから」と言われたことがあったそうです。「原木シイタケの意地です」と栄子さん。消費者も「本物の価値」を学ばなくてはなりませんね。小川さんから「商品にはならないクズレ梅の梅干し」とか、「季節外れのナス」、「ただでも売れないもの」などが時に送られてきます。なんといいとおしいことでしょう！ 食べられるものは絶対に無

駄にしないで活かすという姿勢にとても共感します。化学肥料を使ったり、農協の販売システムに従ったりする世界とは無縁のさすがしさです。

「生産の現場を知ってほしいですね。生産者はプライドをもっていきます。私は真ん中にいるだけ」と栄子さん。「もの」が媒介となり、生産者と消費者がつながります。

### 世田谷にも多くのファンが

「本物の味」を知って、小川さんのところに注文をするようになった世田谷の方々が何人もいらっしゃいます。篠原美知子のほらみちこさんは「ポロ市で3年くらい前に梅干しを買いました。姑に教えてもらい、かつては自分で作っていました。自分で作らなくなっているなかお店で買ってみましたが、なかなかおいしいのに出会わない。黒木の梅干しのパックに住所が書いてあったので、生産者のおばあ

ちゃんに電話をし、小川さんとながりました。何度か注文し、梅干しの隙間に詰められていたみかんがすごくおいしくて、今年はじめて、それも一箱注文しました。これからも買い続けたいです」と話してくださいました。

若林で美容院を営む大庭清美おおはきよみさんも、やはりポロ市で買った梅干しがきっかけ。無添加の昔ながらの味に魅せられて3回ほど注文しました。「小川さんの人柄が素晴らしい。生シイタケ、茹でタケノコなど旬のものをサービスで入れてくださることもあります。バターで焼くとおいしいですよ、とのメモもつけて」とのこと。

下北沢在住の駒谷優こまたのゆうさんは羽根木公園の梅まつりで、5、6年前に梅干しに出会いました。「昔、母がつけていた味に似ていました。自然のものが好きなので、レターパックに入れて送っていただけでいいです。お弁当に梅干しをまぜてもっていくんです」と満足そ



香ばしい柚子の香りと、ちょっとした辛みやみつきになります。

うです。  
ながみかがみ  
永見鏡美さん（桜新町）は、ボロ市で4年ほど前に柚子胡椒と梅干しを買ってみました。「それ以来、柚子胡椒は黒木のものばかりです。1月のボロ市でも一度、と思った時に、売り切れで買えず、名刺をいただき注文しました。他の産物もぜひ試してみたいので、カタログとかがあると嬉しいですね」と言っています。

なんでも「ネット」の今どきですが、小川さんたちはそういう便

利なものはいないの  
で、アナログの製品リストがある  
と注文しやういでしょうね。この  
春からは、NPOの若い人たちが  
関わってくれることになりそう  
で、ホームページも期待できるか  
もしれません。

渋谷区に住む伊村ミチルさん  
は、黒木の野菜に興味を持ち、と  
りあえず5000円分を送ってくだ  
さい、と注文。「ふるさと便」  
に入っていた、黒木ならではの干  
したけのこがたいそう気に入りま  
した。「本当においしいです。仲  
間と分けます」と、もうすっかり  
リピーターです。

### 福島家族たちに安全な野菜を

昨年の春ごろから、思わぬ新た  
なつながりができました。「福島  
の子どもたちとともに・世田谷の  
会」は、2011年の大震災・原  
発事故の1年目から、福島の子ど  
もたちを世田谷によんで、思いっ

きり外遊びをし、リフレッシュを  
してもらおうというプログラム  
を、区の協力を得ながら続けてき  
ています。これまで21回の「ふく  
しまっ子リフレッシュin世田谷」  
を実施してきましたが、コロナ禍  
で2年間「保養」の活動ができて  
いません。しかし、福島状況が  
変わったわけではなく、まだまだ  
問題は山積み。そんな時に今何が  
できるだろうかと考え、思いつい  
たのが「黒木の安全な野菜」でし  
た。

事故から10年以上が経ち、福  
島では「甲状腺がんは放射線と  
関係ないから、検査の必要もな  
い」という神話が作り上げられよ  
うとしている中、世田谷の会では  
2020年にジャーナリストの  
白石草さんに「子どもたちの甲状  
腺がんへの放射線の影響」につい  
て講演していただき、甲状腺がん  
支援グループ「あじさいの会」の  
存在を知りました。

## 野菜が人をつなぐ

あじさいの会代表の千葉親子ちばちかこさんと連絡を取り、放射能を心配しないでいい西日本の無農薬の野菜や天日干しの乾物を送りたいと申し出て、小川さんには季節の野菜を届けてほしいとお願いしました。春は採りたてのタケノコを茹でてパツクにしたもの、夏はトマ



「多くの方に自然の恵みを味わって頂きたい」と話す小川栄子さん

ト、グリーンピース、ナスなど、秋には栗やギンナン、甘いミカン、梅干しと自然と心の詰まった野菜が十数家族分送られています。

千葉さんは会津ですが、郡山など他の地域の会員にも車で届けています。「八女のお野菜、本当にありがたいです。コロナで定例会がなかなかできないのですが、野菜を持って会員家庭を訪問し、『元気だったよ』と情報を伝え合えますから」とお話し下さいました。

小川さんも、「黒木の人たちは福島のことをよく知らず、他人事だと思っていたので、こうしたつながりで福島の現状を伝えられるのはとてもいいこと。食べてもらって喜ばれるなら、とたくさんの人たちが提供してくれそうです。顔を合わせてつながれるよう、今後、交流会が実現できたらいいですね。

先日、福島の人たちと世田谷の運営委員たちがZOOMを使ったお茶会を行った時に、栄子さ

んにも加わっていただきました。送った側と受け取った側がオンライン上で顔合わせができたのは感動的でした。あらためて福島がかかえる問題を直に知ることができ、周りのひとたちにも伝えたいです。

## 黒木と世田谷は仲良し

小川さんはじめ、黒木の人たちは、タケノコ、梅、イチゴ、お茶など、旬の時は待たなして収穫をしなくてはならないので大忙し。ネコの手も借りたいのですが、今の状況ではなかなか「援農」もかないません。状況が許せるようになったら、ぜひ自然の恵みを直接に目にし、手にする機会を持ちたいものです。

世田谷ボランティアセンターにも、ちいさな「黒木コーナー」があります。黒木と世田谷は「姉妹地域」です！

(文責／編集委員 星野 弥生)

■黒木ふるさと便は、現在注文に応じて送っています。  
お問い合わせは「小川栄子 090-4818-4057」

コロナ禍だからこそ始めた  
「かみきた子育て集会所」



# まちの 市民力!!

取材・大垣内 弘美

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちが一緒に活動している  
団体を紹介します



かみきた子育て集会所は、たった一人の0歳児子育て当事者の「この指とまれ!」から始まりました。手を挙げたのは、ささこまみさん。お母さん達のイラ立ち・孤独・不平不満など、SNSの投稿内容から感じた悲鳴のようなつぶやき。同じ子育て当事者だからこそ、キャッチした動きでした。▼SNSフル活用! 子育て世代の疲れの声を反映させた居場所づくり

Twitterで子育て世代に向けてアンケート調査をしたところ、「子育てを休憩したい」と感じたことがある人は100%、その中で実際に休息をとれているのは30%程度ということがわかりま

した。また、この取り組みが始まった2021年8月は新型コロナウイルスが感染拡大をしていた時期。子育て関連の公共サービスも軒並み休止状態。休みたくても休めない子育てではあっても、少しの時間でも親子で休憩できる場所を地元に作りたいという想いから活動を模索し始めました。▼誰が運営者なのかわからない心地よさ

実際に運営しはじめると、毎回、集会所は和気あいあい。誰が運営者で誰が参加者なのかわからない。はじめましての人も、なかなか友達のように。岡さんのいえTOMOに場所を提供して頂き、新規36組が登録し、6割以上がリピ

ターとして訪れる場所へと成長しました。

▼どの子も垣根なく子どもをみんなで見守る輪/子育て当事者のインタビュー

まみさんへのインタビューではこんな答えが。「家にいても、子育てで広場に来てでも結局親子二人っきりで遊ぶだけ」という子育て世代の悩みがあることを実感していました。この場ではみんなでのみんなの子を見守るような空気を作ることを心がけていました。ボランティアアスタツフや集う親達が関わり合うことで親が我が子と対峙する時間から解放されるように運営していましたね。お子さんを抱えるママに何か月ですかと聞くと、別のママから返事が来たりして、『ああ、ママはそこにいたのね』ということも多々ありましたね(笑)」とのこと。皆で大らかに見守る輪が広がっていることを感じました。



くらしの視点からひと・まちおこし  
森本 八月喜さん  
もりもと やつき

や  
せた人が  
キラリ

世田谷を中心に活躍する  
キラリと光る素敵なたを  
ご紹介し  
取材●星野 弥生

森本さんが代表を務めている有  
限会社H A 2。その由来は名前の  
八月喜 Happy August  
tなんだそうです。大学を出てか  
らずっと設計の仕事に携わってき  
ました。「キッチンの設計など生  
活者、女性の視点からの暮らしの  
仕方に興味があったのです」。

女性が在宅で仕事をするという  
と「内職」しか思いつかない頃、  
1995年に在宅ワーク研究会を  
起こし、1999年にはシンポジ  
ウム「家で仕事をすると?」に  
登壇することになりました。そこ  
で出会った大手建設会社の社員の  
方から「建築資料の整理・電子  
化」の仕事してほしいと頼まれま

す。もともと設  
計、人やまちおこ  
しに関わりたかつ  
たので、友人に呼  
びかけて「会社」  
を設立してしま  
います。スタッフは  
全員おおかさん。

同じ立場で、みんながお互いを認  
め合う環境で仕事をします。子ど  
もが熱を出せば「早く迎えに行つ  
て! 後は任せて、お大事に」と。  
「H A 2は図らずも、「H A H A  
母(はは)」でもあったんですよ」。  
2013年には被災地を支援し  
たいと福島の郡山にH A 2のよう  
な会社を興し、浪江から福島に避  
難していた女性に震災関連のデー  
タ入力を頼み、福島に毎月通うこ  
とになります。「里山資本主義」  
などの著書で知られる「地域エコ  
ノミスト」の藻谷浩介さんに案内  
されて被災地を回ったことから、  
「被災地を実際に見なければ始ま  
らない」と痛感し、バスの車窓か

ら、被災地の現状、復興の様子を  
知り、現地の方のお話を聞く「藻  
谷浩介と行くバス講演ツアー」の  
企画・運営を引き受けることに。  
2019年10月の釜石市でのラグ  
ビーワールドカップの観戦を含む  
ツアーまで、計8回の実施で八戸  
からいわきまでの海岸線を走りま  
した。「現地を見ると全然違いま  
すね。大切なのは、『忘れない』  
ということ」と語る森本さん。

起業家になるとはさらさら思わ  
なかったという森本さんですが、  
縁があつて来る仕事、やりたい仕  
事はたくさんあります。自宅近く  
に引っ越してきたランドスケー  
プ・造園関係の老舗「マルモ出版」  
が、編集室に隣接してオープンし  
た本の工房「上町まるものがたり」  
は女性が運営する心地よい「居場  
所」です。ここにも森本さんのこ  
れまでの生活、暮らしの視点が活  
かされています。森本さんの目や  
アンテナがどんなふう地域に広  
がっていくのか、楽しみます。

## ご相談ください

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわか

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生〜高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学

らないという方は、電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター  
TEL 5712・5101

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口  
TEL 5712・5101  
haraguchi@otagaisama.or.jp

## ボランティア求む

### 京 買い物支援ボランティア募集

上北沢に住む軽度の知的障害がある女性が買い物をする時に、一緒に同行してくれる方を募集します。食や栄養に興味・関心のある女性の方にお願ひしたいです。特に資格は必要ありません。地元のお店などに詳しい方を歓迎いたします。

●日時／主に日曜・祝日で月2回  
くらいで1〜2時間程度

●場所／上北沢を中心とした京王線沿線のスーパー・商店街など  
●交通／京王線沿線  
●問合せ／祐ボランティアビューロー 準備室 担当 池田  
TEL 6411・4007  
kinrabor@otagaisama.or.jp

### 東 土曜日に遊んでくれるお兄さん募集

特別支援学校に通う小学2年生の男の子が、土曜日に一緒に遊んでくれるお兄さんを探しています。元気に外で遊ぶのが好きですが、学校のない土曜日は家で過ごすことが多く、寂しい思いをしています。1カ月に1、2回でもいいので、外で思い切り体を動かしたり、散歩に連れて行ってくださると嬉しいです。お兄さんが大好きな、人懐っこい男の子です。

●日時／土曜日午後（月に1〜2回）  
●場所／自宅（等々力）や近隣の公園など  
●条件／大学生〜30才くらいの男性。交通費支給  
●問合せ／玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・3528  
tanabor@otagaisama.or.jp

## 東 切手整理のボランティア募集

「はさみの会」で切手整理を一緒にしませんか？ おしゃべりしながら、使用済みの切手を整理しています。整理した切手は、目の見えない方の施設に寄贈しています。毎週水曜日（第3水曜日を除く）の11時から14時に、ボランティアセンターの会議室で活動しています。気軽にご参加ください。詳細はお問い合わせください。

●日時/毎週水曜日11時～14時  
（第3水曜日を除く）

●場所/世田谷ボランティアセンター

●条件/女性

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関・柳  
TEL 5712・5101

## 東 小学生の下校に付き添ってくれるボランティア募集

等々力にある児童福祉施設が、小学校低学年の子ども（3人）の下校に付き添ってくれるボランティアを探しています。朝はボランティアも一緒に登校しています。夕方方は毎日施設の職員と帰っています。たくさんの人と関わって楽しい登下校になれると思うので、ご協力いただける方がいればうれしいです。

構いません。ご応募お待ちしております。

●日時/月～金曜日の17時過ぎ（または17時25分小学校）～18時10分頃まで

●場所/小学校から等々力の施設まで徒歩35分程度

●条件/交通費支給、施設にてボランティア保険に加入

●問合せ/玉川ボランティアビュー一口  
TEL 3707・3528  
tamabori@otagaisama.or.jp

## 東 子育て支援イベントの お手伝いをしてくれるボランティア募集

現役ママ・パパたちの声によって生まれた、子育て世代・ファミリー向けのイベント「ファミリアフェスタin下北沢」を開催します。それに伴い、お客様（お子様）対応などのボランティアを募集します。子供好きな方、地域の活動に貢献したい方を募集しています。

10時半～16時（予定）

●場所/下北沢第一生命ビル  
交通/下北沢駅徒歩4分

●問合せ/子育て支援グループ Yuzuka 担当 市川・齋藤  
15anamaff@gmail.com  
https://mana-family-festa.anebawind.com/

## 有償スタッフ募集

## 東小 ひとり親家庭の子どもの遊び相手・宿題等の 見守り・夕食作りなどして下さる方募集

世田谷区内の家庭にお伺いし、子ども（保育園～小学生）の遊び相手、宿題等の見守り、夕食作りなどをして下さる方を探しています。

親御さんが多忙や不調で余裕がなかったり、お子さん自身がサポートを必要としているご家庭で、お子さん、親御さんともに安心して楽しく過ごせるよう力を貸していただけたら幸いです。学生さんからシニアの方まで大歓迎です！

詳細は電話か、ホームページか、

らメールでお願いいたします。

●日時/月～金曜日17時～21時  
2～3時間程度。週1日程度から。ご家庭ごとで異なります。

●場所/世田谷区や近隣区

●交通/小田急線・京王線・田園都市線・東横線など

●申込み/お電話かHPから

●問合せ/NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会 担当 波多野・阿知波  
TEL 5727・2133  
http://www.jsw.jp/

# 講座・その他・募集

## 小 代田ビューロー近所カフェ「ゆるゆる体操」

寒い冬は体を動かすことが減っていませんか？ 体も心もほっかぽかにしましょう。マスクをして間隔をあけて、一緒にゆるゆる体操を動かしましょう。体操を覚えて下さる方をお呼びしています。お気軽にお立ち寄りください。

●日時／2月19日（土）

①13時15分～14時

②14時半～15時15分

●場所／代田ボランティアビューロー2階

●交通／世田谷代田駅西口すぐ

●参加費／100円（お茶代）

●申込み／電話かメールで。メールは件名に、「2/19ゆるゆる体操」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。

●事前申し込み制です。

●問合せ／代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545

dtabor@otagatsana.or.jp

## 東 サポートを求めている子どもに寄り添うボランティア養成講座（全3回）

どのお子さんにとっても、自分の力を十分に發揮できる環境で過ごすことが大切です。そのために私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

「ボランティア活動に関心はあったけど、今まできつかけがなかった」「上手に関われるか自信がない」という方でも大丈夫です。子どもと関わるときのポイント、発達障がい、知的障がいについて、一から学べる講座です。

●日時／2月24日、3月3日

3月10日（木）13時半～16時

●場所／玉川ボランティアビューロー

●交通／二子玉川駅徒歩5分

●参加費／500円（資料代）

●申込み／電話かメールで。メールは件名に、「子どもボラ講座申込」とし、本文に①氏名②住所③連絡先④年齢（年代）⑤何を見ても明記して下さい。

●事前申し込み制です。

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tamabor@otagatsana.or.jp

## 小 「先輩ボランティアの話聞いてみよう」参加者募集

先輩活動者のお話を聞きながら、ご自身に合った活動をみつけてみませんか？ ボランティア・地域活動へ踏み出すきっかけの第一歩に。ボランティア・地域活動に関心のある方どなたでも、まずは気軽にご参加ください。

●日時／3月5日（土）13時半～

15時半

●場所／代田ボランティアビューロー2階

●交通／世田谷代田駅西口すぐ

●参加費／300円（資料代）

●申込み／電話かメールで。メールは件名に、「3/5先輩ボランティア」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。

●事前申し込み制です。

●問合せ／代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545

dtabor@otagatsana.or.jp

## 小 梅丘ビューロー「ミバザ」お得意

昨年11月に開催した「梅市バザール」の品物を、半額でセール！

●日時／2月4日（金）

①10時45分～11時25分

●場所／梅丘ボランティアビューロー

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●参加費／1枠12人

●問合せ／梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2520

unebor@otagatsana.or.jp

※新型コロナウイルス感染状況により中止の場合あり

※事前申し込み制です。

※お問い合わせ先へご連絡ください。

※お問い合わせ先へご連絡ください。

※お問い合わせ先へご連絡ください。

東 子育て支援訪問ボランティアの説明会を開催します

ホームスタートとは、未就学児のいる家庭に研修を受けた地域の子育て経験のあるボランティアが訪問する「家庭訪問型子育て支援」です。ボランティアは活動中、お母さんたちと一緒に話をしながら、家事や育児をすることでお母さんを支えます。(子どもの預かりはしません)

子育て家庭を支えたい方、地域活動に興味をお持ちの方を対象に、今回活動説明会を開催します。

せたがや福祉区民学会  
第13回大会「希望につながる新たな一歩」

せたがや福祉区民学会は世田谷区の福祉向上を目指し、年1回、世田谷区内の大学を会場に、大学、事業者、区民、行政が一堂に会し、発表を通じて実践活動・研究を深め合うものです。

第13回大会も世田谷区福祉人材育成・研修センターホームページ上で公開します。

今大会では「学びあい、広げよう せたがや福祉の輪『希望へつながる新たな一歩』」をテーマに、三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長・せたがや福祉区民学会会長の長谷川幹氏による基

ゼンご参加ください。

●日時／2月14日(月) 11時〜12時半

●場所／等々力(ご参加の方にお知らせ)もしくはZOOM

●交通／等々力駅徒歩8分

●問合せ／ホームスタート・ナオミ 担当 わらだ

080-9429-0493  
h5naomi@naominokai.jp  
https://naominokai.net/homestart/

世話になる新たな一歩

講演演の他、「子ども・若者が輝くまち 世田谷」や「地域をつなぐネットワーク」など7テーマ49本の事例発表を公開します。詳細はホームページをご覧ください。

●公開期間／2月19日(土)〜3月18日(金)

●公開場所／世田谷区福祉人材育成・研修センターせたがや福祉区民学会ホームページ

●問合せ／世田谷区福祉人材育成・研修センター 担当 村木  
TEL 6379-4280  
r.muraki@setagaya.or.jp  
https://www.setagaya-jinzai.jp/

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い  
せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。  
●口座番号／  
00150-8-279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円(税込)。お支払いは後日お振込みとなります。(別途送料)

●注文方法／郵送ご希望の方は「お名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン  
TEL 5712-5101  
childline@otagaisama.or.jp

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

### ●いのちを大切にすところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぼーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるね！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ！

### ◆センター&ビューローより

2月は、梅丘・代田・玉川の各ビューローで、講座やイベントを開催予定です。P.10をご覧ください！  
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止・延期になる場合がございます。

### ◆ふらっと& withより

もう2月。つい最近正月や成人式が終わったかと思ったのに街なかではもうバレンタインデー一色に変わりました。めまぐるしい時間の変化に流されながらも、街の季節を感じつつ過ぎていきたいと思います。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

### ◆チャイルドラインより

休み明けや受験シーズン、いろいろな気持ちを抱えている子どもたちがいるのではないかと思います。その時は、気軽にチャイルドラインに電話やチャットをしてみてくださいね。

■特集ページでもご紹介した黒木産の野菜たち。私も食べたことがあります。その中でも、梅干しとミカンはお気に入り、とてもおいしく本当に感動しました。リピーターが出るのもうなづけます。機会があれば、ぜひご賞味ください！

■昨年12月から5kgのダンベルを購入し、筋トレに励んでいます。やればやるほど筋肉がついていくのが実感できるので、週2～3回程度で無理なく楽しくできています。(近藤)

編集後記

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博

